太田武夫氏 再選される

八潮町長選挙

住所　八潮町大字八条三五八三

略歴
- 明治43年4月1日生
- 昭和19、4、1　八条村助役
- 昭和21、2、15　八条村助役
- 昭和30、5、1　八条村長
- 昭和31、9、27　八条村長
- 昭和31、12、22　監査委員
- 昭和42、4、28　監査委員
- 昭和42、4、28　八潮町長
- 昭和46、4、27　八潮町長

みなさんに愛される町づくり

私、去る四月二十五日の八潮町長選挙の結果、おかげさまで再度町長に当選いたし、今後四か年間みなさまとともに、町政をたずさえていくことになりました。

もとより浅才、微力な私でございますので、一にも二にもみなさまのご協力が無くては、今日、当町がかかえている複雑多岐な町政の運営を円滑に推進することはできません。

私も、初心の気持で清新誠意この重責を全うすべく、町づくりに最大の努力をはらわせていただく覚悟でございます。

何とぞみなさまのご指導ご鞭撻をお願いいたします。

不肖、私、今後引きつづき町政を担当することに、いささか憂慮するものでありますが、つとめて町のみなさま方との話し合いの機会を得、町政に関する種々のご意見、要望等を積極的に拝聴し、議会を通じ町政の上にできるだけ多く反映させられるよう、その進展につとめたい所存であります。

公衆の利益を具体化するために

もとより、地方自治体に課せられた最大の目的は、如何にして住民福祉の増進をはかり、環境を整備してよりよい郷土を建設するかという点に帰一されるわけであります。

また、私は行政に関して常日頃念頭に置いていることは、「公衆の利益を具体化するための町政」でなければならないということです。

このことは、町政をたずさわる者として、当然の義務であり、鉄則と考えます。

つまり公衆のために行なうものであり、公衆の利益に奉仕するものであるといえます。

行政自体、行政内部だけで問題を完了し、完結するものではなく常にみなさんとのかかわりあいによって成立するのが、私は、真の民主行政だと考えます。

またさらに私は、均衡と調和のある町政を推進するため、全町一体の見地に立って、地区に偏しない、それぞれ公平な立場で町政を推進し、しかもみなさま方に納得のいくような町政を貫いていきたいと考えます。

終りに町のみなさまのご健康をお祈り申し上げ、就任の挨拶に替えさせていただきます。

百歳を迎える戸籍制度

本年は、戸籍法（明治四年四月四日）が公布されてからちょうど百年になります。

戸籍は、わたしたち日本国民の登録です。戸籍の仕事は、みなさんがご承知のとおり市町村役場においてとり行っているものです。

各人の戸籍のあるところが「本籍」といえます。

戸籍は一組の「夫婦」とその「子」とを単位として作られます。あなたの家族関係は戸籍で証明されます。

相続の場合や各種の年金の受給をうける場合などには、家族関係を証明する資料として、戸籍が重要な役割を果たしています。

そのほか、入学、就職、各種のとりひきなどをする場合にも戸籍を利用されることが少なくありません。

結婚や養子縁組をするには届出が必要です。

どんなに盛大な結婚式を挙げても、結婚の届出をしなければ法律のうえでは夫婦とはいえません。挙式の日に結婚の届出をしましょう。

養子縁組も同じです。自分の本籍「戸籍のある番地」を正しく覚えておきましょう。赤ちゃんが生まれたら必らず十四日以内に届出しなければなりません。